

病態制御医学講座／小児科学領域 附属病院／小児科 総合周産期母子医療センターNICU/GCU

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	大嶋 勇成	平成10年9月－
准教授	畑 郁江	平成12年7月－(平成27年7月-現職)
講師	川谷 正男	平成15年4月－
講師	安富 素子	平成21年4月－(平成27年6月-現職)
助教	徳力 周子	平成20年10月－
助教	鈴木 孝二	平成21年4月－平成22年3月、平成24年4月－
助教	村井 宏生	平成24年7月－
助教	巨田 元礼	平成26年4月－
助教	奥野 貴士	平成24年4月－(平成27年6月-現職)
特命助教	河北 亜希子	平成26年6月－
特命助教	五十嵐 愛子	平成27年4月－(平成27年6月-現職)

2. 研究概要

研究概要

病態制御医学講座／小児科学領域および附属病院／小児科・総合周産期母子医療センターで実施されている研究は、「アレルギー・免疫・感染部門」、「血液・腫瘍部門」、「内分泌・代謝・栄養・先天異常部門」、「神経・発達・子どものこころ・成育・保健部門」、「胎児・新生児・未熟児部門」、「腎・泌尿器部門」の6部門に分類される。個々の部門はそれぞれ独立して、また、相互に協力して、研究を実施した。

小児のアレルギー疾患、免疫疾患、感染症を対象に、その病因・病態の解析と治療法の開発のための研究を実施している。科学研究費補助金・基盤研究(C)「食物アレルギーに対する制御性T細胞誘導を利用した経皮免疫療法の開発」(研究代表者)、科学研究費補助金・基盤研究(C)「オートファジー機能修飾により食物アレルギーを抑制する」(研究代表者)、科学研究費補助金・若手研究(B)「経皮感作による食物アレルギー発症機序の解明と経皮免疫療法への応用」(研究代表者)、科学研究費補助金・若手研究(B)「ステロイド抵抗性喘息における気道上皮細胞のオートファジーの重要性」(研究代表者)、科学研究費補助金・若手研究(B)、「線維細胞を指標とした気道リモデリング進展リスク評価法の確立」(研究代表者)、日本医療研究開発機構(AMED)「小児期食物アレルギーの新規管理法の確立に関する研究」(研究分担者)で、小児アレルギー性疾患の病因病態における食物アレルギーの関与の解明、食物アレルギー患者の経口減感療法における耐性獲得機序の解明や治療決定基準の開発研究、気管支喘息における気道リモデリング機序の解析とバイオマーカー開発研究を行っている。Allergy International 編集委員、日本小児アレルギー学会編集委員長、日本小児アレルギー学会食物アレルギーガイドライン委員、好酸球性消化管疾患ガイドライン統括委員などの活動を通して、我が国の食物アレルギーガイドラインの作成に中心的な役割を果たした。また、膠原病、炎症性腸疾患、原発性免疫不全症、自己炎症性疾患の病態解析を行った。

小児血液疾患、悪性腫瘍の病因・病態の解析と治療法の開発に関する研究を実施している。日本小児白血病リンパ腫研究グループ(JPLSG)、日本小児白血病研究会(JACLS)、日本神経芽腫研究グループ(JNBSG)等の臨床研究グループの参加施設として、白血病・悪性リンパ腫・神経芽腫等の最先端の臨床治療研究を行うと共に、難治症例への造血幹細胞移植を組み入れた集学的治療を行っている。また診断や治療における問題点や合併症の管理など示唆に富む症例について、診療のなかで得ることができた個々の知見について報告した。また前方視的多施設共同観察研究の予備解析や小児での分子標的薬の有有害事象について学会報告を行っている。JPLSG治療研究活動として、平成27年度AMEDによる革新的がん医療実用化研究事業「小児骨髄系腫瘍に対する標準的治療法の確立」の分担研究者として慢性骨髄性白血病の診療ガイドライン作成に携わった。基礎研究に関しては、難治固形腫瘍に対する新規免疫療法の開発を目指し、造血幹細胞移植後の免疫系再構築過程における抗腫瘍免疫を効率的に導くための自家造血幹細胞移植法の研究に取り組んでいる。

小児内分泌・代謝疾患の病因・病態の解明と診断・治療法の開発に関する研究を実施している。タンデム質量分析計を用いた新生児代謝異常マス・スクリーニング(タンデムマス・スクリーニング)の精度管理に関する研究(厚生労働科学研究費補助金・成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業による)を実施した。各地の自治体・検査機関でのスクリーニング精度管理および陽性判定法を検討し、運用に関する支援を行った。スクリーニング精度を高める新しい検査法として、プロピオン酸血症とメチルマロン酸血症の鑑別診断や05-OHアンチカルニチン陽性例の鑑別診断に有用な、LC-MS/MS法を用いた二次検査法を開発し、学会にて発表した。脂肪酸酸化異常症スクリーニング陽性判定におけるアンチカルニチンプロファイルの重要性、β-ケトチオラーゼ欠損症例の臨床経過・化学診断などについて、学会で報告した。先天代謝異常症の化学診断の我が国における中心施設として、全国各地の医療機関のみならず、インドの研究機関からも分析依頼を受け付け、新たに開発した分析法を用いて多数の有機酸代謝異常症・アミノ酸代謝異常症・脂肪酸酸化異常症患者の診断に貢献した。日本医療研究開発機構(AMED)難治性疾患実用化研究事業「ミトコンドリア病に合併する高乳酸血症に対するビルビン酸ナトリウム治療法の開発研究―試薬からの希少疾病治療薬開発の試み―」に研究開発分担者として、「ミトコンドリア病患者を対象としたビルビン酸Naとプラセボとのランダム化二重盲検比較試験」のプロトコル作成、ミトコンドリア病の病態解明などの検討を行った。また、内分泌領域においては、成長障害や甲状腺疾患など臨床経験から得られた情報をもとに、病態などの検討を行い、関連学会にて報告した。学外では、看護師、保健師、栄養士を対象とし、小児の生活習慣病予防や糖尿病に関する講義を担当した。

研究では、科学研究費補助金(基盤研究C「医学的評価に基づくきょうだい支援システムの構築(研究代表者)」、基盤研究C「自閉性障害の神経ネットワーク異常に関する研究:非線形解析による脳形態生理学的検討(研究分担者)」)、大学連携リーグ連携研究推進事業などの援助を受けて、小児の発達障害同胞例を対象として、脳機能の複雑性について脳波の非線形解析を用いて検討を行い、臨床的有用性について国際学会に報告した(AOCCN2015)。また、発達障害の双胎例を対象に臨床特徴を解析し、発症要因の臨床的多様性について言及し、専門学会で報告した(第57回日本小児神経学会)。さらに、自閉症児を持つきょうだい児に対する支援活動を定期的に開催し、その意義や重要性についての福井県内外に発信してきた。臨床では、福井県で唯一の小児神経専門小児神経専門医認定施設として、希少疾患や難治性疾患の診断や治療を行い、その成果を学会や専門誌に報告してきた。また、福井県内の小児神経専門医を志す若手医師育成や専門的な指導を行うために、小児神経に関する画像、脳波、臨床遺伝の勉強会を定期的に開催している。さらに、公立小浜病院や市立敦賀病院で小児神経・精神疾患の専門外来を開設し、福井県内の小児神経の専門的診療ネットワークを構築している。発達障害などの小児精神疾患に関しては、附属病院こどもの心診療部、福井県内の療育機関、教育機関や行政機関と連携を取りながら、発達障害の診断、治療や専門医師の育成に力を注いでいる。小児での治験推進にも積極的に取り組んでおり、小児の注意欠如・多動症を対象とした臨床試験を行っている。

胎児・新生児の生理および病態の解明と難治性疾患に対する効果的治療法の開発を目指した研究を行っている。科学研究費補助金・若手研究(B)：「胃粘膜保護剤ゲラニルゲラニルアセトンを用いた気管支肺形成の新規予防戦略」(研究代表者)による助成を受け、動物実験による検討を開始した。平成26年度福井大学医学部「ライフサイエンス医学」推進学部長裁量経費による研究助成を受け、早産児の慢性腎臓病発症を予測するバイオマーカーに関する研究を行った。周産期母子医療センターネットワークに参加し、早産児の長期的予後を全国レベルでデータベース化する共通システムへの情報提供を行った。新生児の希少疾患・難治性疾患の診断、治療にあたり、関連学会、研究会で報告した。日本周産期・新生児医学会の専門医研修施設として新生児専門医の育成にあたり、平成26年度は1名の合格者を輩出した。また、日本周産期・新生児医学会公認の新生児蘇生法の普及に努めており、福井県医師会主催の新生児蘇生法講習会にインストラクターを派遣した。

小児の腎・尿路疾患における早期診断並びに効果的治療法の開発、改善を目指した研究を行っている。胎児・新生児・未熟児部門と共同で、未熟児・新生児の尿検体を用いて腎障害の早期発見に有用なバイオマーカーを検討している。CAKUT (congenital anomalies of kidney and urinary tract) に対し、出生後はもとより、胎生期からの効果的な介入方法を検討している。定期的に福井県小児腎疾患症例検討会を開催し、県内各診療施設間での知見の共有と補完、並びに最新の治療方針の普及に努めるとともに、福井県下での学校検尿有所見者に対する二次精密検査の標準化プロトコルの作成を目標に活動を展開している。

キーワード

小児科学、免疫性疾患、アレルギー性疾患、アレルギー、膠原病、感染症、免疫不全症、自己炎症性疾患、血液疾患、臨床腫瘍学、血液腫瘍、血液の疾患の治療、代謝異常、栄養性疾患、内分泌疾患、新生児マススクリーニング、質量分析法、小児神経・筋疾患、発達障がい、子どものこころ、発達脳科学、胎児・未熟児・新生児、栄養・発育、体液、生体応答、ネフローゼ症候群、糸球体腎炎、先天性尿路路奇形、尿路感染症、腎不全

特色等

小児科学の各専門領域で優れた研究を実施し、その成果を国内外に発信している。同時に、小児アレルギー疾患の治療ガイドラインの策定や先天代謝異常症のマス・スクリーニング、発達障害のきょうだい支援体制の構築など、近年社会的問題となっている疾患の診療・予防・管理に直接結びつく研究を継続して行っている。福井県の医療・保健行政に対し、関係する各種委員会の委員として参加するとともに、血液・腫瘍部門は福井県唯一の骨髄移植認定施設として、骨髄移植治療成績の向上のための臨床研究を進め、国内外の大規模な専門施設にひけをとらない治療成績を上げている。新生児・未熟児部門は総合周産期母子医療センターのNICU/GCU部門として起承熟児に対する優れた治療成績を上げており、日本周産期・新生児医学会認定の専門医研修施設として新生児専門医の育成を行った。神経・発達部門は小児科の積極的な関与が求められる「発達障害」や「こころ」の問題を抱える児に対する支援を、治療、臨床試験の推進、地域との学際的・有機的な連携のもとに、積極的に進めている。腎・泌尿器部門は福井県下の小児腎疾患の治療標準化を多施設共同で行っている。このように、小児科学・小児医療の多くの分野で、社会に大きく貢献している。

本学の理念との関係

小児科学領域は、上述の研究概要、研究進展状況、特色に記載したごとく、本学の理念である先端の医療人および医学研究者の育成、世界をリードする水準の研究成果の創出、高度な医療の実践、のすべての項目において、それに合致した優れた活動を実施している。

3. 研究実績

区分	総数		インパクトファクター（うち原著のみ）	
	2015年分		2015年分	
和文原著論文	8		—	
英文論文	ファーストオーサー	5	7.953 (7.223)	
	コソボ ディング オーサー	4	7.223 (7.223)	
	その他	16	23.164 (22.434)	
	合計	21	31.117 (29.657)	

(A) 著書・論文等

(1) 英文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編集・編集・監修

(2) 英文：論文等

a. 原著論文（審査有）

- 1531001** Yamamoto H, Tachibana D, Tajima G, Shigematsu Y, Hamasaki T, Tanaka A, Koyama M: Successful management of pregnancy with very-long-chain acyl-coenzyme A dehydrogenase deficiency., J Obstet Gynaecol Res, Epub, 2015 (症例報告), #1.072
- 1531002** Hisahara S, Matsushita T, Furuyama H, Tajima G, Shigematsu Y, Imai T, Shimohama S.: A heterozygous missense mutation in adolescent-onset very long-chain acyl-CoA dehydrogenase deficiency with exercise-induced rhabdomyolysis., Tohoku J Exp Med, 235(4), 305-310, 2015, #1.351
- 1531003** Hitomi T, Matsuura N, Shigematsu Y, Okano Y, Shinozaki E, Kawai M, Kobayashi H, Harada KH, Koizumi A: Importance of molecular diagnosis in the accurate diagnosis of systemic carnitine deficiency., J Genet, 94(1), 147-150, 2015, #1.093
- 1531004** Kato S, Nakajima Y, Awaya R, Hata I, Shigematsu Y, Saitoh S, Ito T: Difficulty in Detecting Glycerol-3-Phosphate with Solvent Extraction in Urinary GC/MS Analysis., Tohoku J Exp Med, 237(3), 235-239, 2015, #1.351
- 1531005** Yamada K, Kobayashi H, Bo R, Takahashi T, Purevsuren J, Hasegawa Y, Taketani T, Fukuda S, Ohkubo T, Yokota T, Watanabe M, Tsunemi T, Mizusawa H, Takuma H, Shioya A, Ishii A, Tamaoka A, Shigematsu Y, Sugie H, Yamaguchi S: Clinical, biochemical and molecular investigation of adult-onset glutaric acidemia type II: Characteristics in comparison with pediatric cases., Brain Dev, Epub, 2015, #1.88
- 1531006** Gupta D, Bijarnia-Mahay S, Saxena R, Kohli S, Dua-Puri R, Verma J, Thomas E, Shigematsu Y, Yamaguchi S, Deb R, Verma IC: Identification of mutations, genotype-phenotype correlation and prenatal diagnosis of maple syrup urine disease in Indian patients., Eur J Med Genet, 58(9), 471-478, 2015, #1.466
- 1531007** Yamamoto T, Yoshioka S, Tsurusaki Y, Shino S, Shimojima K, Shigematsu Y, Takeuchi Y, Matsumoto N: White matter abnormalities in an adult patient with l-2-hydroxyglutaric aciduria., Brain Dev, 38(1), 142-144, 2016, #1.88
- 1531008** Bijarnia-Mahay S, Häberle J, Rüfenacht V, Shigematsu Y, Saxena R, Verma IC: Citrin deficiency: A treatable cause of acute psychosis in adults., Neurol India, 63(2), 220-222, 2015, #1.232
- 1531009** Hashimoto Y, Sakakibara A, Kawakita R, Hosokawa Y, Fujimura R, Nakamura T, Fukushima H, Igarashi A, Masue M, Nishibori H, Tamagawa N, Murakami A, Hatake K, Yorifuji T: Focal form of congenital hyperinsulinism clearly detectable by contrast-enhanced computed tomography imaging, Int J Pediatr Endocrinol, 20(1), 1-4, 201509, DOI: 10.1186/s13633-015-0016-0 (症例報告)
- 1531010** Kato S, Nakajima Y, Awaya R, Hata I, Shigematsu Y, Saitoh S, Ito T.: Pitfall in the Diagnosis of Fructose-1,6-Bisphosphatase Deficiency: Difficulty in Detecting Glycerol-3-Phosphate with Solvent Extraction in Urinary GC/MS Analysis., Tohoku J Exp Med, 237(3), 235-239, 201511, DOI: 10.1620/tjem.237.235. (症例報告), #1.351
- 1531011** Tokuriki S, Okuno T, Ohta G, Ohshima Y: Carboxyhemoglobin Formation in Preterm Infants Is Related to the Subsequent Development of Bronchopulmonary Dysplasia, Dis Markers, (2015), 620921-620921, 2015, DOI: 10.1155/2015/620921, #1.562
- 1531012** Murai H, Okazaki S, Hayashi H, Kawakita A, Hosoki K, Yasutomi M, Sur S, Ohshima Y: Alternaria extract activates autophagy that induces IL-18 release from airway epithelial cells., Biochem Biophys Res Commun, (464), 969-974, 2015, #2.297
- 1531013** Okuno T, Tokuriki S, Yoshino T, Tanaka N, Ohshima Y: Diffuse neonatal hemangiomas in a very-low-birth-weight infant treated with erythropoietin, Pediatr Int, 57, e34-e36, 2015 (症例報告), #0.73
- 1531014** Yasutomi M, Kunishima S, Okazaki S, Tanizawa A, Tsuchida S, Ohshima Y: ACTN1 rod domain mutation associated with congenital macrothrombocytopenia, Ann Hematol, 95(1), 141-144, 201601, DOI: 10.1007/s00277-015-2517-6 (症例報告), #2.634
- 1531015** Takiguchi S, Fujisawa T, Mizushima S, Sato D, Okamoto Y, Shimada K, Koizumi M, Kumazaki HI, Jung M, Kosaka H, Hiratani M, Ohshima Y, teicher M, Tomoda A: Ventral striatum dysfunction in children and adolescents with reactive attachment disorder: functional MRI study, Br J Psychi Open, 1(1), 121-128, 2015, DOI: 10.1192/bjpo.bp.115.001586 (症例報告), #2.386
- 1531016** H. Moritake, M. Obara, N. Sameshima, Y. Asada, H. Komatsu, N. Hyakuna, K. Sugita, Y. Ishida, M. Kato, A. Tanizawa, T. Deguchi, T. Imamura, A. Kitanaka, K. Shimoda, S. Kamimura, H. Nuno: Analysis of the molecular mechanism underlying bone marrow necrosis with acute lymphoblastic leukemia, INTERNATIONAL JOURNAL OF HEMATOLOGY, 102(3), 349-356, 201509, DOI: 10.1007/s12185-015-1843-8, #1.918
- 1531017** S. Ohba, A. Tanizawa, H. Yoshimura, S. Matsuda, Y. Imamura, K. Sano: A case of retinoblastoma metastasizing to the mandible and review of literature, Cranio, 34(2), 133-138, 201603, DOI: 10.1179/2151090314Y.0000000032 (症例報告), #0.682
- 1531018** H. Kurosawa, A. Tanizawa, C. Tono, A. Watanabe, H. Shima, M. Ito, Y. Yuza, N. Hotta, H. Muramatsu, M. Okada, R. Kajiwara, A. Moriya Saito, S. Mizutani, S. Adachi, K. Horibe, E. Ishii, H. Shimada: Leukostasis in Children and Adolescents with Chronic Myeloid Leukemia: Japanese Pediatric Leukemia/Lymphoma Study Group., Pediatric blood & cancer, 63(3), 406-411, 201603, DOI: 10.1002/pbc.25803, #2.386
- 1531019** M. Yasutomi, K. Yoshioka, A. Mibayashi, A. Tanizawa, K. Imai, O. Ohara, Y. Ohshima: Successful Myeloablative Bone Marrow Transplantation in an Infant With Wiskott-Aldrich Syndrome and Bacillus Calmette-Guerin Infection., Pediatric blood & cancer, 62(11), 2052-2053, 201510, DOI: 10.1002/pbc.25588 (症例報告), #2.386

b. 原著論文（審査無）

c. 原著論文（総説）

1531020 Hori T, Yamaguchi S, Shinkaku H, Horikawa R, Shigematsu Y, Takayanagi M, Fukao T: Inborn errors of ketone body utilization., Pediatr Int, 57(1), 41-48, 2015, #0.73

1531021 A. Tanizawa: Optimal management for pediatric chronic myeloid leukemia., Pediatrics international : official journal of the Japan Pediatric Society, 58(3), 171-179, 201603, DOI: 10.1111/ped.12876, #0.73

d. その他研究等実績（報告書を含む）

e. 国際会議論文

(3) 和文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

- 1531022 重松 陽介：マスキングで陽性となった新生児への対応：水口雅，市橋光，崎山弘：今日の小児治療指針，第16版，医学書院，229-230，2015
- 1531023 重松 陽介：全身性カルニチン欠乏症：別冊新領域別症候群シリーズ N033 骨格筋症候群（下），第2版，日本臨床社，75-78，2015
- 1531024 重松 陽介：カルニチンパルミトイルトランスフェラーゼI欠損症：別冊新領域別症候群シリーズ No33 骨格筋症候群（下），第2版，日本臨床社，79-82，2015
- 1531025 畑 郁江，重松 陽介：カルニチン/アシルカルニチントランスロカーゼ欠損症：別冊骨格筋症候群（下），第2版，日本臨床社，87-89，2015.07
- 1531026 畑 郁江，重松 陽介：カルニチンパルミトイルトランスフェラーゼII欠損症：別冊新領域別症候群シリーズ No. 33 骨格筋症候群（下）（第2版），2，日本臨床社，83-86，2015.7
- 1531027 大嶋 勇成：乳児喘息：水口雅，市橋光，崎山弘総編集：今日の小児治療指針第16版，16，医学書院，2015
- 1531028 大嶋 勇成：喘鳴の診断：身体所見：徳山研一編：よくわかる子どもの喘鳴診療ガイド，診断と治療社，74-76，2015
- 1531029 谷澤 昭彦：分子標的薬：日本小児血液・がん学会：小児血液・腫瘍学，診断と治療社，137-142，201511，978-4-7878-2098-3
- 1531030 谷澤 昭彦，黒澤 秀光：慢性骨髄性白血病CML：日本小児血液・がん学会：小児白血病・リンパ腫診療ガイドライン2016年版，第3版，金原出版株式会社，55-64，201602，978-4-307-17069-7

c. 編集・編集・監修

(4) 和文：論文等

a. 原著論文（審査有）

- 1531031 花井潤師，福士 勝，石毛 信之，田崎 隆二，山口 清次，重松 陽介：タンデムマス・スクリーニングにおける精度管理の現状と今後の課題-内部精度管理の充実に向けた取組み，日本マス・スクリーニング学会誌，25(1)，57-66，2015
- 1531032 村井 宏生，岡崎 新太郎，林 仁幸子，河北 亜希子，安富 素子，大嶋 勇成：学校給食関連職員の食物アレルギーとアナフィラキシーに対する認識とその問題点，小児科臨床，68(2)，299-305，2015
- 1531033 五十嵐 愛子，山村 なつみ，藤原 香緒里，道上 敏美，山本 勝輔，里村 憲一：低体温療法と小腸閉鎖根治術を行った重症仮死の新生児に対して血液・腹膜透析を施行しえた1例，日本小児腎臓病学会雑誌，35，193-196，201507
- 1531034 森 夕起子，玉村 宗一，山田 健太，大音 泰介，渡辺 康宏，谷口 義弘，林 泰平，重松 陽介：末期腎不全で発見された原発性高シュウ酸血症1型の3ヵ月乳児例，日本小児腎臓病学会雑誌，28(1)，60-67，2015
- 1531035 林 泰平，岩井 和之，津田 英夫，重松 陽介：母親の慢性萎縮性胃炎が原因となったビタミンB12欠乏症の乳児例，日本小児科学会雑誌，119(3)，589-594，2015
- 1531036 但馬 剛，津村 弥来，香川 礼子，岡田 賢，原 圭一，松本 裕子，栢田 紗季，森岡 千代美，吉井 千代子，佐倉 伸夫，畑 郁江，重松 陽介：タンデムマス新生児スクリーニングin広島-自治体事業化後の現状，日本マス・スクリーニング学会誌，25(1)，75-82，201506
- 1531037 重松 陽介，畑 郁江：アシルカルニチンプロフィールを参照した脂肪酸酸化異常症スクリーニング陽性判定の重要性，日本マス・スクリーニング学会誌，25(1)，67-73，201506
- 1531038 巨田 元礼，吉野 智美，畑 郁江，水田 耕一，大嶋 勇成：限局性結節性過形成を伴い思春期早期に発見された先天性肝外門脈体循環短絡の1例，日本小児科学会雑誌，2015

b. 原著論文（審査無）

c. 総説

- 1531039 大嶋 勇成：アトピー性皮膚炎，子どもケア，(10)，9-13，2015

d. その他研究等実績（報告書を含む）

- 1531040 谷澤 昭彦：医学教育の展望 専門医の効率的な資格取得を支援する，DOCTOR-ASE，16，34-35，20160125
- 1531041 谷澤 昭彦：福井県における放射線治療専門医育成プログラム：福井大学医学部「がん専門医育成推進講座」の役割，JASTRO NEWSLETTER，117，20-21，201509

e. 国際会議論文

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

- 1531042 Shigematsu Y, Hata I, Tajima G, Nakajima H: Strategy for newborn screening of methylmalonic/ propionic acidemias using MS/MS and LC-MS/MS, The 9th Asia-Pacific Regional Meeting of the International Society for Neonatal Screening 2015, Penang, Malaysia, 20151218
- 1531043 Ohshima Y, Murai H, Okazaki S, Hayashi H, Kawakita A, Yasutomi M, Sur S: Alternaria extract activates autophagy that induces IL-18 release from airway epithelial cells, EAACI2015, Barcelona (Spain), 201506

d. 一般講演（ポスター）

- 1531044 Watanabe Y, Tashiro K, Aoki K, Inaba M, Yanagiuchi C, Suzutani Y, Ishii H, Kinoshita Y, Tajima G, Yorifuji T, Shigematsu Y, Maeda Y, Nakajima Y, Inokuchi T, Matsuishi T: A long term follow-up study of 8 individuals with asymptomatic propionic acidemia, Annual Symposium of the Society for the Study of Inborn Errors of Metabolism, Lyon, France, 20150903
- 1531045 Bijarnia-Mahay S, Deswal S, Hara K, Shigematsu Y, Verma IC: Systemic primary carnitine deficiency - early treatment with a good outcome in first case from India., Annual Symposium of the Society for the Study of Inborn Errors of Metabolism, Lyon, France, 20150903
- 1531046 Shigematsu Y, Hata I, Nakajima H, Tajima G, Bijarnia-Mahay S, Puri RD, Saxena R, Verma J, Verma IC: Second-tier LC-MS/MS analysis using dried blood spots of C5-OH-acylcarnitine- positive cases in newborn screening and high-risk screening., Annual Symposium of the Society for the Study of Inborn Errors of Metabolism, Lyon, France, 20150903

業績一覧

- 1531047** Shigematsu Y, Hata I, Nakajima H: A low-birth-weight baby with 3-hydroxyacyl-coenzyme A dehydrogenase deficiency: markers for newborn screening. The 4th Asian Congress for Inherited Metabolic Diseases, Taipei, Taiwan, 20150325
- 1531048** Murai H, Okazaki S, Hayashi H, Kawakita A, Yasutomi M, Sur S, Ohshima Y: Autolysosomal formation is required for Autophagy, The 2016 AAAAI Annual Meeting, Los Angeles, CA, Los Angeles (USA), 20160304
- 1531049** Kawatani M, Takahashi T, Ohta G, Kometani H, Ohshima Y, Tomoda A, Hiratani M: Neural network mechanism for siblings with neurodevelopmental disorders using non-linear analytic methods, AOCGN2015, 台北 (台湾), 201505
- 1531050** H. Shimada, H. Kurosawa, A. Watanabe, M. Ito, C. Tono, H. Shima, Y. Yuza, H. Muramatsu, N. Hotta, M. Okada, A. Tanizawa.: Interim analysis of a multicenter, prospective study for pediatric chronic myeloid leukemia in chronic phase: the JPLSG CML-08 study, 57th ASH Annual Meeting and Exposition, Orlando (USA), 20151204
- e. 一般講演**
- f. その他**
- (2) 国内学会 (全国レベル)**
- a. 招待・特別講演等**
- 1531051** 大嶋 勇成: ガイドラインの比較から見えてくるアトピー性皮膚炎の診療の考え方, 第52回日本小児アレルギー学会, 奈良市, 201511
- 1531052** 大嶋 勇成: 小児呼吸器疾患診療における身体所見の取り方: 小児科専門医の教育目標の立場から, 第48回日本小児呼吸器学会, 倉敷市, 201510
- b. シンポジスト・パネリスト等**
- 1531053** 重松陽介: LC-MS/MSによる二次検査法の開発, 第40回医用マススペクトル学会, シンポジウム「全国自治体で事業化されたタンデムマス・スクリーニングへの対応」, 浜松市, 20150925
- 1531054** 重松 陽介, 畑 郁江, 中島 英規: タンデム質量分析法による代謝異常症スクリーニングとその問題点, 第63回質量分析総合討論会, MS技術の医療応用とその社会貢献, つくば市, 20150618
- 1531055** 河北 亜希子, 岡崎 新太郎, 林 仁幸子, 村井 宏生, 安富 素子, 眞弓 光文, 大嶋 勇成: 経皮感作後の経口抗原投与法の違いが腸管粘膜組織変化に与える影響, 第64回日本アレルギー学会学術大会, 動物モデル 薬剤効果, 東京, 20150527, アレルギー, 64(3・4), 494, 201504
- 1531056** 大嶋 勇成: 発症予防のupdate, 第64回日本アレルギー学会学術大会, 乳児喘息, 東京, 201505
- 1531057** 大嶋 勇成: 乳幼児喘息における難治化要因, 第25回国際喘息学会日本・北アジア部会, シンポジウム6: 乳児・小児難治喘息, 横浜市, 20150903
- c. 一般講演 (口演)**
- 1531058** 重松 陽介, 湯浅 光織, 磯崎 由宇子, 畑 郁江, 但馬 剛, Bijarnia-Mahay Sunita, Verma I.C., 中島 英規: 濾紙血C5-OHアシカルルニチン上昇例の濾紙血LC-MS/MS分析による鑑別診断, 第57回日本先天代謝異常学会, 大阪市, 20151113, 日本先天代謝異常学会雑誌第57回日本先天代謝異常学会総会号, 31, 138, 201510
- 1531059** 重松 陽介, 畑 郁江, 湯浅 光織, 但馬 剛, 渡邊 順子, 石毛 信之, 中島 英規: 有機酸代謝異常症のLC-MS/MS法による二次検査法の検討, 第42回日本マス・スクリーニング学会学術集会, 東京, 20150821, 日本マススクリーニング学会誌第42回日本マススクリーニング学会学術集会抄録号, 25(2), 203, 201507
- 1531060** Murai H, Okazaki S, Hayashi H, Kawakita A, Yasutomi M, S. Sur, Mayumi M, Ohshima Y: Airway epithelial cells exposed to Alternaria release IL-18 through secretory autophagy, 第64回日本アレルギー学会学術大会, 東京, 201505, アレルギー, 64(3・4), 385, 201504
- 1531061** 村井 宏生, 河北 亜希子, 安富 素子, 大嶋 勇成: 児童クラブ職員に対する食物アレルギー指導の有用性の検討, 第52回日本小児アレルギー学会, 奈良市, 201511
- 1531062** 巨田 元礼, 川谷 正男, 山口 大輔, 藤岡 徹, 滝口 慎一郎, 松浦 直己, 河野 俊寛, 石坂 郁代, 大石 敬子, 平谷 美智夫: 発達性ディスレクシアと診断された224例の背景要因の検討, 第7回ADHD学会, 東京, 201602
- 1531063** 五十嵐 愛子, 野崎 昌俊, 望月 成隆, 白石 淳, 平野 慎也, 北島 博之: 生後2.5か月時にニューモシスチス肺炎に罹患した先天性風疹症候群の1例, 第51回日本周産期・新生児医学会学術集会, 福岡市, 201507, 日本周産期・新生児医学会雑誌, 51(2), 662, 201506
- 1531064** 五十嵐 愛子, 野崎 昌俊, 西原 正泰, 望月 成隆, 白石 淳, 平野 慎也, 北島 博之: 当院におけるINSUREの検討, 第51回日本周産期・新生児医学会学術集会, 福岡市, 201507, 日本周産期・新生児医学会雑誌, 51(2), 649, 201506
- 1531065** 但馬 剛, 津村 弥来, 香川 礼子, 原 圭一, 岡田 賢, 松本 裕子, 栢田 紗季, 森岡 千代美, 吉井 千代子, 佐倉 伸夫, 畑 郁江, 重松 陽介: MCAD欠損症の酵素・遺伝子診断: 14年間の知見, 第42回日本マス・スクリーニング学会学術集会, 東京, 20150821, 日本マススクリーニング学会誌 第42回 日本マススクリーニング学会 学術集会抄録号, 25(2), 200, 201507
- 1531066** 但馬 剛, 原 圭一, 津村 弥来, 香川 礼子, 平田 修, 岡田 賢, 佐倉 伸夫, 畑 郁江, 重松 陽介: CPT-2欠損症のマススクリーニング: 一次対象疾患化へ向けた課題, 第57回日本先天代謝異常学会, 大阪市, 20151114, 日本先天代謝異常学会雑誌 第57回日本先天代謝異常学会 総会号, 31, 148, 201510
- 1531067** Yasutomi M, Kawakita A, Okazaki S, Hayashi H, Murai H, Mayumi M: Autophagy plays an important role in pathophysiology of food allergy, 第64回日本アレルギー学会学術大会, 東京, 201505
- 1531068** 安富 素子, 河北 亜希子, 林 仁幸子, 村井 宏生, 眞弓 光文, 大嶋 勇成: 食物アレルギーマウスモデルにおけるオートファジー機能の解析, 第52回日本小児アレルギー学会学術集会, 奈良市, 201511
- 1531069** 安富 素子, 奥野 貴士, 鈴木 孝二, 畑 郁江, 大嶋 勇成: シメチジン投与による発熱周期短縮を認めたPFAPA症候群の1例, 第25回日本小児リウマチ学会, 金沢市, 201510
- 1531070** 久保 陽子, 松浦 ひろみ, 鈴木 孝二, 谷澤 昭彦: 小児期における入院経験者の心理ケアに関する臨床心理学的研究, 第57回日本小児血液・がん学会学術集会, 甲府市, 201511, 52(2), 187, 2015
- 1531071** 吉野 智美, 酒井 武彦, 野坂 和彦, 津田 英夫, 福原 君栄, 大嶋 勇成: BCG接種後に左上腕部の真性皮膚結核局性病変を生じた1例, 第47回日本小児感染症学会, 福島市, 201510
- 1531072** 嶋田 博之, 黒澤 秀光, 渡辺 輝浩, 伊藤 正樹, 遠野 千佳子, 嶋 晴子, 湯坐 有希, 村松 秀城, 堀田 紀子, 岡田 雅彦, 谷澤 昭彦: 小児慢性期慢性骨髄性白血病 (CML) に対する多施設共同観察研究CML-08: 平成27年度予備解析, 第57回日本小児血液・がん学会学術集会, 甲府市, 20151129, 日本小児血液・がん学会雑誌, 52(4), 251, 201510

業績一覧

- 1531073** 湯坐 有希、嶋田 博之、黒澤 秀光、渡辺 輝浩、伊藤 正樹、遠野 千佳子、嶋 晴子、村松 秀城、堀田 紀子、岡田 雅彦、谷澤 昭彦: JPLSG CML-08 予備解析報告2015: 急性有害事象について、第57回日本小児血液・がん学会学術集会、甲府市、20151129、日本小児血液・がん学会雑誌、52(4)、252、201510
- 1531074** 嶋 晴子、嶋田 博之、黒澤 秀光、渡辺 輝浩、伊藤 正樹、遠野 千佳子、湯坐 有希、村松 秀城、堀田 紀子、岡田 雅彦、谷澤 昭彦: 小児慢性期CML患者における骨代謝とチロシンキナーゼ阻害剤による影響 (JPLSG CML-08 研究)、第57回日本小児血液・がん学会学術集会、甲府市、20151129、日本小児血液・がん学会雑誌、52(4)、252、201510
- 1531075** H. Shima, A. Tanizawa, C. Tono, A. Watanabe, H. Kurosawa, M. Ito, Y. Yuza, H. Muramatsu, H. Goto, H. Shimada: Impact of TKI on Gonadal Function in CML-CP Children: JPLSG CML-08 Study、第77回日本血液学会、金沢市、20151016、臨床血液、56(9)、1400
- 1531076** 盛武 浩、鮫島 直樹、百名 伸之、杉田 完爾、加藤 元博、石田 也寸志、谷澤 昭彦、出口 隆生、今村 俊彦、布井 博幸: 骨髄壊死には白血球細胞由来の細胞障害因子によるアポトーシスが関与している、第118回日本小児科学会学術集会、大阪市、20150417、日本小児科学会雑誌、119(2)、261、201502
- d. 一般講演 (ポスター)**
- 1531077** 湯浅 光織、畑 郁江、河北 亜希子、磯崎 由宇子、巨田 元礼、重松 陽介、深尾 敏幸、大嶋 勇成: 重篤なケトアシドーシスの治療中に眼球運動障害を呈したβ-ケトチオラーゼ欠損症の1例、第57回日本先天代謝異常学会、大阪市、20151113、日本先天代謝異常学会雑誌 第57回日本先天代謝異常学会 総会号、31、167、201510
- 1531078** 川谷 正男、巨田 元礼、米谷 博、大嶋 勇成、友田 明美、平谷 美智夫: 発達障害の双胎例における臨床的多様性、第57回日本小児神経学会学術集会、大阪市、20150528、脳と発達、47(Suppl.)、S363、201505
- 1531079** 巨田 元礼、川谷 正男、米谷 博、渡邊 一寿、磯崎 由宇子、石原 靖紀、大嶋 勇成: 可逆性脳血管攣縮症候群を発症した 常染色体優性多発性嚢胞腎の5歳男児例、第57回日本小児神経学会学術集会、大阪市、20150528、脳と発達、47(Suppl.)、S343、201505
- 1531080** 巨田 元礼、川谷 正男、米谷 博、平谷 美智夫、大嶋 勇成: 発達性読字障害と診断された児童の背景因子の検討、第57回日本小児神経学会学術集会、大阪市、20150529、脳と発達、47(Suppl.)、S363、201505
- 1531081** 木村 丈、野崎 昌俊、平野 慎也、白石 淳、望月 成隆、土屋 浩史、岡崎 容子、五十嵐 愛子、小笠原 宏、吉田 美寿々、祝原 賢幸、北島 博之: 生直後に重度の換気不全と肺高血圧を呈し、ECMOで救命できた静脈管無形成の胎児診断例、第51回日本周産期・新生児医学会学術集会、福岡市、201507、日本周産期・新生児医学会雑誌、51(2)、826、201506
- 1531082** 原 圭一、香川 礼子、但馬 剛、岡田 賢、佐倉 伸夫、畑 郁江、重松 陽介: VLCAD欠損症確定検査より得られた知見、新たなスクリーニング指標の有用性と新規好発変異、第57回日本先天代謝異常学会、大阪市、20151113、日本先天代謝異常学会雑誌 第57回日本先天代謝異常学会 総会号、31、166、201510
- 1531083** 香川 礼子、但馬 剛、津村 弥来、原 圭一、岡田 賢、松本 裕子、佐倉 伸夫、畑 郁江、重松 陽介: MCAD欠損症の酵素・遺伝子診断: 14年間の知見、第57回日本先天代謝異常学会、大阪市、20151113、日本先天代謝異常学会雑誌 第57回日本先天代謝異常学会 総会号、31、165、201510
- 1531084** 畑 郁江、磯崎 由宇子、林 泰平、渡邊 一寿、奥野 貴士、重松 陽介、大嶋 勇成: バセドウ病母体へ投与された抗甲状腺薬により著しい甲状腺腫を来した新生児例、第49回日本小児内分泌学会、東京、20151009、第49回 日本小児内分泌学会学術集会 プログラム・抄録集、231、201501
- 1531085** 渡邊 一寿、巨田 元礼、吉川 利英、鈴木 孝二、谷澤 昭彦、大嶋 勇成、今村 好章: 急性骨髄性白血病治療中にムコールによる急性虫垂炎および肝腫瘍を合併した一例、第118回日本小児科学会学術集会、大阪市、20150418、日本小児科学会雑誌、119(2)、414、201502
- 1531086** 鈴木 孝二、谷澤 昭彦、熊野 麻美、吉野 智美、村井 宏生、吉川 利英、中嶋 秀明、今村 好章、畑 郁江、大嶋 勇成: 多発肺転移にて再発した21 か月時発症の線維肉腫一男児例、第57回日本小児血液・がん学会学術集会、甲府市、20151127、日本小児血液・がん学会雑誌、52(4)、303、201510
- 1531087** 吉川 利英、鈴木 孝二、畑 郁江、谷澤 昭彦、大嶋 勇成、吉村 仁志、佐野 和生、大越 忠和: 骨を破壊し口腔内へ進展した下顎骨乳児血管腫の2 か月男児例、第57回日本小児血液・がん学会学術集会、甲府市、20151127、日本小児血液・がん学会雑誌、52(4)、281、201510
- e. 一般講演**
- f. その他**
- (3) 国内学会 (地方レベル)**
- a. 招待・特別講演等**
- 1531088** 大嶋 勇成: 小児アトピー性皮膚炎の病態から治療を考える、第176回上越小児科医会、上越市、20160315
- 1531089** 大嶋 勇成: 食物アレルギーの今後の展望、大阪小児科医会第179回学術集会、大阪市、20150905
- b. シンポジスト・パネリスト等**
- c. 一般講演 (口演)**
- 1531090** 清水 一浩、木下 一之、山本 龍哉、小坂 信之、木村 浩彦、酒井 康弘、今村 好章、津田 雅世、鈴木 孝二: 捻転発症した卵巣性腺芽腫および未分化胚細胞腫の46XY女児の一例、日本医学放射線学会第159回中部地方会、名古屋市、20160130
- 1531091** 巨田 元礼、川谷 正男: 治療に難渋しているOpsoclonus-Myoclonus syndromeの2歳男児例、平成27年度 日本小児神経学会北陸地方会夏季セミナー、加賀市、20150718
- 1531092** 前田 夢吉、山田 健太、巨田 元礼、鈴木 孝二、川谷 正男、大嶋 勇成、津田 英夫: 情動脱力発作を伴うナルコレプシーの3歳男児例、第314回日本小児科学会北陸地方会第11回日本小児科学会福井地方会、永平寺町、20150614、日本小児科学会雑誌、119(9)、1430
- 1531093** 前田 夢吉、巨田 元礼、川谷 正男: 情動脱力発作を伴うナルコレプシーの3歳男児例、平成27年度日本小児神経学会北陸地方会夏季セミナー、加賀市、20150718
- 1531094** 磯崎 由宇子、畑 郁江、大嶋 勇成、重松 陽介: 著明な成長障害を呈し、TSH、PTHの軽度高値が持続する2歳女児例、第10回小児北陸内分泌症例検討会、金沢市、20150718
- 1531095** 野村 詠史、畑 郁江、河北 亜希子、磯崎 由宇子、巨田 元礼、大嶋 勇成、重松 陽介、湯浅 光織、深尾 敏幸: ロタウイルス胃腸炎を契機に発症したβ-ケトチオラーゼ欠損症の一例、第315回日本小児科学会北陸地方会、金沢市、20151213、日本小児科学会雑誌、120(6)、1037、2015606
- 1531096** 井川 正道、岡沢 秀彦、辻川 哲也、清野 智恵子、前田 浩幸、川谷 正男、畑 郁江、木村 浩彦、和田 有司、米田 誠: 分子イメージングによるMELAS脳卒中様発作の病態解明、第36回北陸臨床遺伝研究会、金沢市、20160221、第36回北陸臨床遺伝研究会 プログラム・抄録集、10、201602
- 1531097** 磯崎 由宇子、畑 郁江、鋸谷 麻紗巳、林 仁幸子、川谷 正男、大嶋 勇成、重松 陽介、菊田 健一郎: 類もやも病を合併したBardet-Biedl病の2例、第30回北陸小児内分泌研究会、金沢市、20160130
- 1531098** 河北 亜希子、津田 雅世、林 泰平、村井 宏生、鈴木 孝二、安富 素子、大嶋 勇成: 高流量式鼻カニユル酸素療法を用いた気管支喘息の3例、第12回日本小児科学会福井地方会、福井市、20151114、日本小児科学会雑誌、120(4)、808、201504

業績一覧

- 1531099 徳力 周子、五十嵐 愛子、奥野 貴士、巨田 元礼、大嶋 勇成：早産児における上腕骨皮質厚の生後変化，第29回北陸周産期・新生児研究会，金沢市，20151018
- 1531100 巨田 元礼、渡邊 一寿、吉川 利英、村井 宏生、鈴木 孝二、川谷 正男、畑 郁江、大嶋 勇成：ステロイドパルス療法が有効であった慢性特発性髄膜炎の2症例，第51回中部日本小児科学会，名古屋，20150823
- 1531101 前田 夢吉、村井 宏生、林 泰平、津田 雅世、大嶋 勇成、川尻 智士、有島 英孝、菊田 健一郎、杉原 啓一、安藤 徹：潰瘍性大腸炎の治療経過中に脳静脈洞血栓を発生した1例，第316回日本小児科学会北陸地方会，富山市，20160301，日本小児科学会雑誌，120(9)，1406，201609
- 1531102 林 泰平、津田 雅世、鈴木 孝二、谷澤 昭彦、大嶋 勇成：頸胸部に伸展する腫瘍性病変による気道閉塞状態から救命しえた12歳男児例，第19回北陸小児救急・集中治療研究会，金沢市，20150509
- 1531103 巨田 元礼、川谷 正男、大嶋 勇成：広汎性拒絶症候群と診断した8歳女児例，第56回福井県小児保健協会学術集会，永平寺町，20160214
- 1531104 巨田 元礼、川谷 正男、大嶋 勇成：広汎性拒絶症候群と診断した8歳女児例，第69回日本小児神経学会北陸地方会，金沢市，20160207

d. 一般講演 (ポスター)

e. 一般講演

f. その他

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

- 1531105 大嶋 勇成：小児アトピー性皮膚炎の病態から治療を考える，第36回近畿アトピー性皮膚炎談話会，大阪市，20151128
- 1531106 大嶋 勇成：小児アトピー性皮膚炎の生活管理とスキンケア，京都こどもの皮膚病カンファレンス，京都市，20151014
- 1531107 谷澤 昭彦：何か変だと思ったときに「小児がん？」と疑ってみる，平成27年度福井県小児科医会総会，永平寺町，20160312，福井県小児科医会会報，45，70-71，2016

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演 (口演)

- 1531108 井川 正道、岡沢 秀彦、辻川 哲也、清野 智恵子、前田 浩幸、川谷 正男、畑 郁江、木村 浩彦、和田 有司、米田 誠：分子イメージングによるMELAS脳卒中様発作の病態解明，第36回北陸臨床遺伝研究会，金沢，20160221，プログラム・抄録集，10
- 1531109 安富 素子、渡邊 一寿、津田 雅世、鈴木 孝二、大嶋 勇成、森岡 茂巳、金兼 弘和、星野 顯宏、高島 健浩、和田 泰三：STAT3 gain-of-functionの一例，第5回小児免疫不全症セミナー，金沢市，20160219
- 1531110 山田 健太、吉川 利英、田中 奈々絵、鈴木 孝二、谷澤 昭彦、大嶋 勇成、藤本 大裕、村上 真、酒井 康弘、今村 好章：初発時に両側腎転移を認めた神経芽腫の治療経過について (第2報)，第42回北陸小児癌症例検討会，金沢市，20150919
- 1531111 鈴木 孝二、津田 雅世、林 泰平、杉田 元氣、黒川 哲司、畑 郁江、今村 好章、吉川 利英、谷澤 昭彦、大嶋 勇成：急性腹症で発症した卵巣未分化胚細胞腫の経験，第34回京都大学小児血液腫瘍研究会，京都市，20160227
- 1531112 岡田 直樹、土岐 真、岸川 太、桑原 高橋 貞佳、河野 美幸、黒瀬 望、湊 宏、野島 孝之、鈴木 孝二、谷澤 昭彦：MYCN陰性新生児神経芽腫の治療経過，第43回北陸小児癌講演会，金沢市，20160213
- 1531113 鈴木 孝二：ムコールによる急性虫垂炎および肝臓腫を合併した急性骨髄性白血病の治療経験，第45回 (福井) 血液・腫瘍Roundtable Conference，福井市，20151021
- 1531114 鈴木 孝二、津田 雅世、林 泰平、村井 宏生、吉川 利英、谷澤 昭彦、大嶋 勇成：同種末梢血幹細胞移植後に血小板減少状態が遷延している小児不応性血球減少症の男児例，第10回京都地区小児血液腫瘍研究会，京都市，20150725
- 1531115 鈴木 孝二、津田 雅世、林 泰平、村井 宏生、吉川 利英、大嶋 勇成、谷澤 昭彦：同種末梢血幹細胞移植後にdonor type aplasiaに陥った小児不応性血球減少症の男児例，第1回北陸小児血液研究会，金沢市，20150711
- 1531116 鈴木 孝二：同種末梢血幹細胞移植後に血小板減少状態が遷延している小児不応性血球減少症の男児例，第44回 (福井) 血液・腫瘍Roundtable Conference，福井市，20150610
- 1531117 吉川 利英：重篤な移植後合併症を発生した高リスク神経芽腫の男児例，第44回 (福井) 血液・腫瘍Roundtable Conference，福井市，20150610
- 1531118 安富 素子、河北 亜希子、山田 健太、鈴木 孝二、大嶋 勇成、宮川 和彦：レイノー現象に対してPDE5阻害剤を使用した混合結合組織病の1例，北陸リウマチ研究会，金沢市，20160227
- 1531119 大嶋 勇成：二次予防，六甲カンファレンス，京都市，201507
- 1531120 林 泰平、津田 雅世、鈴木 孝二、谷澤 昭彦、大嶋 勇成：頸胸部に伸展する腫瘍性病変による気道閉塞状態から救命しえた12歳男児例，第19回北陸小児救急・集中治療研究会，金沢市，20150509

4. グラント取得

(A) 科研究費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	期間 (年度)	金額 (配分額)
国立研究開発法人日本医療研究開発機構		ビルビン酸ナトリウム開発研究 - 試薬からの希少疾病治療薬開発の試み -	古賀 靖敏	畑 郁江	2015	6500000
国立研究開発法人日本医療研究開発機構		食物に対する免疫療法と効果判定法の開発	海老澤 元宏	大嶋 勇成	2015	2462001
区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	期間 (年度)	金額 (配分額)
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	食物アレルギーに対する制御性T細胞誘導を利用した経皮免疫療法の開発	大嶋 勇成		2015	1300000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	自閉症障害の神経ネットワーク異常に関する研究：非線形解析による脳形態生理学的検討	高橋 哲也	川谷 正男	2015	130000

業績一覧

文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	医学的評価に基づく自閉症児のきょうだい支援システムの構築	川谷 正男	高橋 哲也	2015	1300000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	視床下部腹内側核に作用して走行運動を調節する物質を発見する	成田 和巳	重松 陽介	2015	300000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究 (B)	未熟児における新たな腸管発育評価法の確立と腸保護戦略	奥野 貴士	奥野 貴士	2015	1170000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究 (B)	経皮感作による食物アレルギー発症機序の解明と経皮免疫療法への応用	河北 亜希子		2015	1040000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究 (B)	胃粘膜保護剤ゲラニルゲラニルアセトンを用いた気管支肺異形成症の新規予防戦略	徳力 周子		2015	1300000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	オートファジー機能修飾により食物アレルギーを抑制する	安富 素子		2015	1170000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究 (B)	気道上皮における小胞体ストレス応答が気管支喘息の病態に与える影響	村井 宏生		2015	1300000
厚生労働省科学研究費補助金	成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業 (健やか次世代育成総合研究事業)	新生児タンデムマスクリーニングのコホート体制、支援体制、および精度向上に関する研究	山口 清次	重松 陽介、山口 清次	2015	1500000
学内競争的資金	トランスレーショナルリサーチ推進センター公募型研究費	小児気管支喘息患者に対する病態解析バイオマーカーの開発	村井 宏生		2015	200000

(B) 奨学寄附金

受入件数	14
受入金額	6700000

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
その他の研究集会	主催者	がん専門医育成シンポジウム	20151129-20151129	永平寺町

(B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名
福井県小児保健協会	副会長 (その他)	大嶋 勇成
日本小児科学会福井地方会	会長 (その他)	大嶋 勇成
日本小児科学会北陸地方会	委員 (その他)	大嶋 勇成
日本小児耳鼻科学会	運営委員 (その他)	大嶋 勇成
国際喘息学会日本・北アジア部会	幹事 (その他)	大嶋 勇成
日本アレルギー学会	理事	大嶋 勇成
日本小児アレルギー学会	利益相反委員会委員 (その他)	大嶋 勇成
日本小児科学会	編集委員	大嶋 勇成
日本小児アレルギー学会	倫理委員会委員長 (その他)	大嶋 勇成
日本小児アレルギー学会	免疫療法WG委員 (その他)	大嶋 勇成
日本小児アレルギー学会	理事	大嶋 勇成
日本小児アレルギー学会	編集委員長 (編集委員)	大嶋 勇成
日本小児科学会	代議員	大嶋 勇成
日本小児皮膚科学会	運営委員 (その他)	大嶋 勇成
日本小児アレルギー学会	食物アレルギーガイドライン委員会委員 (その他)	大嶋 勇成
日本小児皮膚科学会	編集委員	大嶋 勇成
日本小児呼吸器疾患学会	運営委員 (その他)	大嶋 勇成
日本小児感染症学会	評議員	大嶋 勇成
日本小児呼吸器学会	学術委員会委員 (その他)	大嶋 勇成
日本小児呼吸器学会	情報処理委員会委員 (その他)	大嶋 勇成
関西免疫不全症研究会	世話人 (その他)	大嶋 勇成
日本アレルギー学会	編集委員	大嶋 勇成
日本小児科学会	中部地区資格認定委員会委員 (その他)	大嶋 勇成
日本アレルギー学会	代議員	大嶋 勇成
日本小児アレルギー学会	評議員	大嶋 勇成
The American Association of Immunologists	一般会員	大嶋 勇成
日本小児呼吸器学会	地区運営委員 (その他)	大嶋 勇成
日本小児感染症学会	編集委員	大嶋 勇成
日本小児感染症学会	理事	大嶋 勇成
日本人類遺伝学会	評議員	畑 郁江
日本先天代謝異常学会	評議員	畑 郁江
日本マスキリーニング学会	一般会員	畑 郁江

日本小児内分泌学会	一般会員	畑 郁江
日本内分泌学会	一般会員	畑 郁江
北陸小児救急・集中治療研究会	世話人(その他)	畑 郁江
福井糖尿病療養指導研究会	理事	畑 郁江
福井県小児保健協会	理事	川谷 正男
日本小児神経学会北陸地方会	幹事(その他)	川谷 正男
日本小児神経学会	アーカイブ小委員会委員(その他)	川谷 正男
日本小児神経学会	ホームページ委員会委員(その他)	川谷 正男
日本小児神経学会	評議員	川谷 正男
福井県自閉症協会	運営委員(その他)	川谷 正男
日本てんかん学会	一般会員	川谷 正男
日本人類遺伝学会	評議員	川谷 正男
日本小児精神神経学会	一般会員	川谷 正男
日本小児神経学会	社会活動支援委員(その他)	川谷 正男
日本小児神経学会	一般会員	川谷 正男
日本小児科学会	一般会員	川谷 正男
未熟児新生児医療研究会	世話人(その他)	奥野 貴士
北陸周産期新生児研究会	世話人(その他)	奥野 貴士
日本周産期新生児医学会	一般会員	奥野 貴士
日本未熟児新生児学会	一般会員	奥野 貴士
日本小児科学会	一般会員	奥野 貴士
日本周産期新生児医学会	評議員	徳力 周子
日本癌学会	一般会員	鈴木 孝二
日本血液学会	一般会員	鈴木 孝二
日本造血幹細胞移植学会	一般会員	鈴木 孝二
日本小児血液・がん学会	一般会員	鈴木 孝二
日本小児科学会	一般会員	鈴木 孝二
日本骨髓バンク	調整医師(その他)	鈴木 孝二
日本小児アレルギー学会	疫学調査WG委員(その他)	安富 素子
日本小児アレルギー学会	小児アレルギー教育セミナーWG委員(その他)	村井 宏生
日本小児アレルギー学会	喘息治療・管理ガイドラインSR委員(その他)	村井 宏生
日本小児呼吸器学会	一般会員	村井 宏生
American thoracic society	一般会員	村井 宏生
AAAAI	一般会員	村井 宏生
日本小児アレルギー学会	評議員	村井 宏生
日本小児科学会	一般会員	村井 宏生
日本アレルギー学会	一般会員	村井 宏生

(G) 座長

国内学会	学会名	氏名
シンポジウム等	小児気道アレルギー・アジアフォーラム	大嶋 勇成
招待・特別講演等	第2回福井アレルギー疾患研究会	大嶋 勇成
シンポジウム等	第16回食物アレルギー研究会	大嶋 勇成
招待・特別講演等	第25回日本小児リウマチ学会	大嶋 勇成
シンポジウム等	第39回日本小児皮膚科学会学術集会	大嶋 勇成
招待・特別講演等	The 11th Congress of Asian Society for Pediatric Research	大嶋 勇成
一般講演(口演)	第118回日本小児科学会学術集会	大嶋 勇成
招待・特別講演等	第64回日本アレルギー学会学術大会	大嶋 勇成
シンポジウム等	第64回日本アレルギー学会学術大会	大嶋 勇成
招待・特別講演等	第1回福井県1型糖尿病研究会	畑 郁江
一般講演(口演)	第42回日本マスキリーニング学会	畑 郁江
一般講演(口演)	第12回日本小児科学会福井地方会	徳力 周子
一般講演(口演)	第29回北陸周産期・新生児研究会	徳力 周子
シンポジウム等	福井県総合周産期勉強会(第4回福井県周産期協議会)	徳力 周子
一般講演(ポスター)	第51回日本周産期・新生児医学会学術集会	徳力 周子
一般講演(口演)	第45回(福井)血液・腫瘍Roundtable Conference	谷澤 昭彦

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	委員長(主査)・委員	氏名
アレルギー		大嶋 勇成
Int J Pediatr Res		大嶋 勇成
Pediatr Allergy Immunol		大嶋 勇成
Front Pharmacol		大嶋 勇成
Front Pediatr		大嶋 勇成
Front Microbiol		大嶋 勇成
Plos One		大嶋 勇成
Asia Paci J Clin		大嶋 勇成
J Leukoc Biol		大嶋 勇成
Pediatr Int	委員	大嶋 勇成
小児感染免疫	委員	大嶋 勇成
日本小児皮膚科学会雑誌	委員	大嶋 勇成
ALLergol Int	委員	大嶋 勇成
日本アレルギー学会雑誌	委員長	大嶋 勇成
Journal of Japan Society of Perinatal and Neonatal	委員	徳力 周子

(E) その他

1531121

村井 宏生：韓国小児アレルギー呼吸器学会（KAPARD）30周年記念大会への医師派遣（トラベルグラント）（日本小児アレルギー学会）、韓国小児アレルギー呼吸器学会（KAPARD）30周年記念大会への医師派遣（トラベルグラント）、201603

1531122

大嶋 勇成：おじゃまっテレ（福井テレビ）、食物アレルギー、201509

1531123

大嶋 勇成：“ふくいのドクター相談室”子のアトピー、改善兆しない（福井）、20150730

1531124

村井 宏生：元気で医こう（日刊県民福井）、食物アレルギーとアナフィラキシー、201602

1531125

川谷 正男：元気で医こう（日刊県民福井）、小児のてんかん、201603

1531126

大嶋 勇成：ほっと第30号7（福井市福祉保健部子育て支援室）、喘息について、201602

1531127

鈴木 孝二：小児医療に役立てて（福井、日刊県民福井、中日）、20151222

1531128

林 泰平：“元気で医こう”小児の腎臓病（日刊県民福井）、20151108

1531129

眞弓 光文：福井大、あわら市 地域振興へ協定（日刊県民福井、福井）、20150722

1531130

眞弓 光文：眞弓学長を再任（福井、日刊県民福井、中日、産経）、20150724

1531131

眞弓 光文：地域人材育成文科省が採択（中日、朝日、日刊県民福井、毎日、日経、福井、産経）、20150930